

日野稲門会

かわら版

会長あいさつ

日野稲門会会長 京極英二（昭46・政経）

新年あけましておめでとうございます。

穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

この2年、コロナ禍で日野稲門会は創立以来最大の危機に直面しました。

このままでは稲門会の灯は消えてしまうとの思いで、活動できることは何かと模索してきました。まず会員間コミュニケーションツールとして「かわら版」を2020年9月に創刊し、以降感染防止対策を徹底して収穫祭を開催しました。

2021年は日野市主催の多摩川・浅川クリーン作戦、コスモスアベニュー事業など屋外行事の参加に加え、10月は収穫祭と2年振りに美術作品展を開催し、11月にはハイキング同好会が再開されました。2ページ「同好会だより」のように、今年は健康麻雀、スキー、ゴルフ、源氏物語など再開に向け準備しております。

コロナ禍でリモート会議、メール、電話等は便利なツールである反面、閉塞感は拭えませんでした。やはり稲門会の本質は「対面」であることを改めて認識しました。

今年は2月13日（日）に新春懇談会、6月12日（日）には2年振りにホテルエミシア東京立川（旧立川グランドホテル）で総会を予定しております。当然感染状況を注視しながらになりますが、皆さまの積極的なご参加をお願い申し上げます。



イベント予告

令和4年 映画上映会・新春懇談会

残念ですが、

中止です！

今年も下記のとおりで映画上映会に続いて新春懇談会を開催します。

★日時：2月13日（日） 10:30～12:50 上映会
13:30～16:30 新春懇談会

★場所：多摩平交流センター 集会室5

上映会「母と暮らせば」 吉永小百合 主演（2015.12 公開作品）

申込方法など詳細は別紙チラシを参照ください 担当：杉本 武彦

総会の開催について

1. 日時：令和4年6月12日（日）午前11時～

2. 場所：ホテルエミシア東京立川

3. 総会態様：総会、講演会および懇親会
詳細はあらためて連絡します

これからの行事予定

開催日	行事名	場所
4月16日（土）	多摩川・浅川クリーン作戦（第13回）	浅川一番橋付近
6月12日（日）	総会（第43回）	ホテルエミシア東京立川
6月19日（日）	コスモスアベニュー事業（第25回）	浅川スポーツ公園
9月4日（日）	東京三多摩支部大会（第20回）	場所未定
10月8日（土）	秋の収穫祭（第24回）	実践女子大グランド横農地
10月23日（日）	2022稲門祭/ホームカミングデー	早稲田大学キャンパス

行事は、新型コロナウイルス感染拡大状況その他の事情により変更する場合があります

contents

- ・ イベント案内…………… 1
- ・ 皆さんからのメッセージ…………… 5～6
- ・ 同好会だより…………… 2～5
- ・ 編集後記…………… 6

同好会だより

新型コロナ発生から2年、感染拡大を避けるために活動を自粛していた同好会も多くありましたが、新しい年を迎え活動再開を計画しています。一緒に楽しい時間を取り戻しましょう！

ハイキング同好会

幹事：南 正隆 090-8109-3871
minami.masataka@akane.waseda.jp

COVID-19の影響で活動を自粛していましたが、2021年11月に約2年ぶりに活動を再開しました。久しぶりの皆さんとのハイキングはいいお天気に恵まれて羽村の堰から浅間岳、大澄山に登りました。富士山も眺められ、楽しく一日を過ごすことができました。今回は下山後の懇親会もなく、近隣稲門会もお誘いできず残念でした。状況を見ながらにはなりますが、懇親会や近隣稲門会との交流も復活していきたいと考えています。



ハイキング同好会では年4回のハイキングを実施しています。初心者や高齢者でも参加できるように低山や里山のハイキングがメインになっています。景色や草花、野鳥などを愛でながら気の合った仲間たちと歩くのは楽しく気持ちの良いものです。下山後に一杯やりながら皆と語り合うのも楽しみのひとつです。

当会はこのように誰でも気軽に参加できる楽しい同好会です。ハイキングや登山は比較的感染症のリスクが少ないと考えられます。コロナ禍のこの機会と一緒に野山を歩いてみませんか。

テニス同好会

幹事：青木 雅介 090-5794-0847
aokimayo@hotmail.com

テニス同好会は現在所属16名、その内稲門会会員の奥様をはじめ5名の女性の方々のご参加も頂き、明るく楽しい、活動となっています。(毎回12名程度の参加)

活動は毎週 火曜日と木曜日の2回、午前中2時間/回、多摩平の森テニスコート(又は旭が丘テニスコート)。片方の曜日のみの選択も可能です。

コロナ禍で、2020年初は日野市のテニスコートもクローズとなり、一時的に活動を中止しましたが、同年6月にテニスコートが再開されると共に再活動しました。オープンスペースとはいえコロナの感染対策には充分配慮し、PLAY時以外でのマスク着用や、ソーシャルディスタンスのキープ、飲食集会無し、他団体との交流は控えを守っています。

活動に入る15分前に集合し、昔懐かしラジオ体操で体をほぐし、けがの無いように心がけています。“継続は力なり”をモットーに皆元気に活動しています。

早稲田での青春時代を思い出して頂き、よろしければテニスを通して稲門会にご入会頂ければ幸いです。

史跡巡りの会

幹事：上田 實 080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp

平成30年秋に発足した当会は、「和気アイアイ、知的ワクワク」をモットーに市内はじめ多摩地域の史跡探訪を楽しむ会です。

今まで高幡不動探訪や新選組「深読み」探訪などを続けて来ましたが、コロナ禍で中断を余儀なくされた間は、探訪コースなどの検討を色々やってきました。検討中のテーマやコースの例を挙げておきますので、コロナが沈静化した暁には、知人、ご家族誘ってぜひご参加下さい。灯台下暗し、「眼からうろこ」の生涯練習会です。

3~5月頃に下記①について実施を考えています。ご参考までに、検討予定候補を例示しておきます。

- ①産業遺産「絹の道」資料館での座学と探訪・・・(早大OB 富澤氏)
- ②テキスト「野仏の見方」を見ながら路傍散策・・・(早大OB 外山氏)
- ③多摩の文学碑めぐり
- ④分倍河原古戦場跡めぐり
- ⑤武蔵国分寺跡周辺の史跡めぐり
- ⑥高尾山の信仰史跡探訪
- ⑦武蔵武士「西党」等の史跡探訪・・・(埼玉県、杉山氏)
- ⑧武蔵の古社・大国魂神社周辺めぐり
- ⑨平山周辺の史跡めぐり
- ⑩落川・百草周辺史跡めぐり
- ⑪日野の古地図読み解き探訪
- ⑫多摩の地形・

地理・地名の謎解き探訪・・・(地理学研究、竹内氏)等々。

バードウォッチング会

幹事：玉木 雅治	090-4840-3261
tamaki423@gmail.com	

鳥？ カラスなら知ってるよ。バードウォッチングって、基礎力はこれくらいで十分です。「あの鳥は、何ていう名？」。いったん野鳥に興味を持つと、家にいたって声が聞こえる。外では鳴いたり飛んだりする姿が見られる。カメラや双眼鏡を向ければ、表情までキャッチできる。すばらしいことに日野は自然が豊か、いっぱい野鳥がいるんです。バードウォッチング会に参加すると、たとえばカラスが2種いるのがわかる。見れば頭、口の形が違う。聞けば「カー、カー」「ガー、ガー」鳴き声で区別できる。その2つのカラスをいっぺんで見分けられるようになりますよ。

講師は「八王子・日野カワセミ会長」粕谷和夫さん。アウトドアで楽しむバードウォッチング会ですが、この2年間は控えてきました。次回こそ、一緒に野鳥を楽しめると、うれしいですね。

・開催予定 2022年春

スキー同好会

幹事：高橋 敏夫	042-591-6811
ts-taka@jcom.zaq.ne.jp	

毎年1月の最終週に、2泊3日のスキー旅行を実施しています。いつも7~8名が参加し楽しく滑っています。2021年は、コロナの緊急事態宣言があり中止とせざるを得ませんでした。計画当初は、まだ開催の可能性があります。感染防止対策として、宿泊先のB&Bホテルブルーエを貸し切りにしてもらったりして直前まで開催を模索しましたが、結局は実施困難ということで会としての開催は中止になりました。

2022年1月のスキーは、コロナも少し落ち着いてきたので、今度こそ実施できるのではないかとみんな心待ちにしています。1月30日からの2泊3日で、今回も奥志賀高原のB&Bホテルブルーエです。スキーゲレンデは広いので人との接触はありません。あとはコロナの第6波が来ないよう祈っています。

昔、スキーを経験された方、一緒に滑りませんか。

泊まりでの同好会ですので夜の2次会は毎年大盛り上がりです。今年は、校歌、応援歌などは大声で歌えませんが・・・。ご参加をお待ちしています。

健康麻雀同好会

幹事：上田 實	080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp	

新年を迎えましたが、コロナの影響で経済同様に我々の活気や笑顔もさらに減衰してしまいそうです。健康麻雀同好会では、リスクは意識しながらも活動を再開したいと思います。まずは日野稲門会の皆様が元気や笑顔を取り戻すことが最優先。同好会活動は必ずその役に立つと信じています。麻雀はほとんどの皆さんが学生時代に親しんだゲーム。多くの皆様が、気楽に参加することが出来るはずです。そうした特性も生かして垣根の低い同好会とし、皆様の要望に沿えるよう運営方法も柔軟に対応させていきたいと思います。

現状の活動の紹介(新入会員大歓迎、気楽に質問や相談してください)

会員数約10名、隔月1回月曜日の午後開催。年末に懇親会兼表彰式開催。

麻雀の開催場所は豊田駅近くの「ニューグリーン」。場代は参加者均等負担。

年会費、1500円、主に年間表彰賞品にあてます。

源氏物語を読む会

幹事：玉木 雅治	090-4840-3261
tamaki423@gmail.com	

世界から「日本は女性の地位が低い」とよく言われます。しかし、女性が書いた文学が一国の最高峰と言われている国は日本だけ。文学で言うなら女性を最も認めているのが日本なのです。その最高峰というのが、源氏物語です。

日野稲門会「源氏物語を読む会」は月に1回、開催しています。テキストは現代語訳でなく、原文そのもの。「私はムリかも、と心配しながら参加したのですが、それが読めてくるのよ。いつの間にか、引き込まれていたの」とA子さん。この会は、しだいに会員がふえてきました。

会の魅力の一つが、久保貴子講師。講座を受けるうち、ファンになった会員が数多くいます。先生は実践女子大の古典研究者で早大講師。講座はゆっく

りと物語の流れを追っていきます。平安時代と現代を大きくつなげたり、王朝文化をユーモアを交えて解説したりします。

いつかは読んでみたいと多くの方があこがれる源氏物語。読むほどに、これが最高峰の物語という実感がわいてくるでしょう。

2年間のブランク明けとなる2022年春、講座はリフレッシュする計画が進行中。「何か趣味を」と思うなら、源氏で新しい一步を踏み出しませんか。

男の料理同好会

幹事：松島 修	080-7833-5901
松島 o.matsus28@gmail.com	

当会は2015年1月に9名の会員が参加して始まりました。現在の会員数は15名、これまで奇数月の第二木曜日に日野本町の中央公民館や多摩平交流センターの調理室を使って開かれて来ました。毎回10時から12時まで先生の指導の下に3グループに分かれて調理し、12時から皆で会食します。先生の選んだ献立と指導が良いので、いつも大変美味しく頂いています。

しかし、残念ながらコロナ禍のため2020年1月第26回の後、中断となりました。今年、コロナの第6波が落ち着いたら再開を予定していますが、2年余の中断で現在の会員もこれまで学んだスキルをすっかり忘れており？再開時は全員スタートラインに並んでよーいドンとなります。初めての方も奮ってご参加下さい。

早慶戦を応援する会（野球）

幹事：生川 博	090-5302-2775
ikawaikiiki@outlook.jp	

早慶戦を応援する会は、神宮球場で、春季と秋季の早慶1回戦を観戦・応援しています。

テレビ観戦と違って、自分の目で打球を追い、攻守を見、しかも投球ごとにグラウンドの全選手の動きまで視野に入れることができます。選手と観客の一体感や球場の雰囲気も手伝って緊張と歓喜を思う存分体感させてくれ、弥が上にも気分が昂ぶります。

また、開始前の打撃・守備練習を見つつ、今日の戦況を予想するのも楽しみの一つですし、試合中に日野稲門会の皆さんと次の場面を予想しながら、その成行きを共有することも楽しさを倍加してくれ

ます。これらは、正に球場にいてこそ味わえる臨場感と高揚感です。

観戦・応援終了後には、有志で懇親の場を持ち、盃を交わしながら野球談議に花を咲かせます。監督の采配振りや選手の活躍など、さながら“雨夜の品定め”をしたり、往年の試合を回顧するなど大いに盛り上がります。リフレッシュする絶好の機会であること疑いなしです。

春の爽やかな、又秋の澄み切った空の下、神宮の森で一緒に午後のひと時を満喫しましょう。ご参加を心待ちにしています。

○今年の開催予定

(春)5月28日(土) (秋)10月29日(土)

荒ぶる会（ラグビー）

幹事：杉本 武彦	080-3421-5934
sugimototandc@mist.ocn.ne.jp	

荒ぶる会はラグビー好きの集まりです。現在会員は20名ですが、中には早稲田出身ではなくて、早稲田ラグビーが好きで入会されており、早稲田の試合は欠かさず観戦されている方もおられます。

年間活動は早帝戦、早慶戦、早明戦の三戦の応援と早明戦後に勝っても負けても1年の締めとして祝勝会を行います。

また「元全日本ラグビーを囲む会」という行事があります。かつての名選手に会えるという事で、興奮しますが皆さん気さくな方々で非常に楽しい会です。

ところがこの2年コロナ禍で活動を自粛しており、観戦も入場制限で切符の入手が困難で、残念ながら試合もテレビ観戦で応援している状態で、荒ぶる会は休眠状態です。

早稲田ラグビーは今年度から、新しく太田尾氏(ヤマハ発動機出身)を監督に迎え、昨年の雪辱に燃えており、コロナ禍の下火を期待し、荒ぶる会の活動再開を願っています。皆様のご参加をお待ちしております。

ゴルフ同好会

幹事：吉川 正行	090-2303-4528
m515355y@gmail.com	

コロナ禍、活動は休止しております。最終開催は2019秋第44回八王子GMGでした。

この2年間、表彰式、一時はカート使用も出来ない

等の情報もあり控えておりました。また、万が一一人でも感染されたら、ご本人はもちろん、日野稲門会、大学にもご迷惑をお掛けすることになると心配しておりました。

近々の感染者数の大幅な減少状況から2022年は是非復活したいと思っております。オミクロンの国内侵入という心配が出てまいりましたが完璧な水際対策を期待し、今の減少状況が続いていくことを祈念しております。

第44回の優勝者は初めて会員の奥様でした。うらかな4月、青空に向かい気持ちの良いティーショットを夢見つつご案内をしたいと思っております。ご夫婦、ご家族のご参加大歓迎です。ご入会お待ちしております。

☆☆☆☆

なお、「歌う会」は諸事情から閉会し、「日野稲石会（囲碁）」は休会中です。

皆さんの投稿

住宅地で農業

川名 桂

街の中にある小さな農地に目を向けたことがあるでしょうか。何気ない田畑も、毎日見ていると「田んぼに水が入った、これから田植えだな」とか、「あれはトマトの苗かな。夏野菜を植える季節か」とか、この地域に根ざした風土や文化を季節とともに楽しむことができます。そんな、日常を豊かにし地域への愛着をもたらしてくれる都市農業の姿が私はとても好きです。

この風景を守ることを目指して、畑を借り受け、農園を開設してから2年半ほど経ちました。複雑な法律や開発の圧力に耐えながら、大切に受け継がれてきたこの農地を、私もまた次世代に受け継ぐことが使命と思っております。

そのために必要な強く安定した農業経営を実現するため、トマトを栽培するビニールハウスでは最新技術を取り入れ、いつも様々な機器が自動で温度や日射、水や肥料を制御しながら、高い生産性を目指しています。しかし、どんなにスマート化された農業であっても、この土地で、ここに降り注ぐ太陽の力をいただきながら生きる、という農業の基本は変

わりません。地球に対する謙虚な気持ちを忘れずに、明日もまた、地域を愛するみなさまに美味しい野菜と日野の季節の姿をお届けできるように励みます。

<プロフィール>

ネイバーズファーム代表。
東京大学農学部卒業後、農業法人に就職。福井県にて大規模トマト栽培施設の立ち上げ・流通業務に携わる。より消費地との近い農業を志し、2019年3月生産緑地を借り受けて新規就農、ネイバーズファームを設立。認定新規就農者となる。



<補足情報>日野稲門会会員 川名 達也氏
(昭55・法学)の娘さんです

美術作品展の出展者から

2021年10月に開催した美術作品展には14名の方々が出展され、作品は絵画、写真、陶芸、彫刻の他に、手漉き和紙やポジャギ（韓国のパッチワーク）が加わり、バライティーに富んだ、彩鮮やかな、明るく、楽しい作品展になりました。

その中のお二人から投稿いただきました。

漆の実と『灯り』

杉村 和子

百草園の近くにある日野市の美術館「小島善太郎百草画荘」で、私は月に1、2回、来館された方に絵のご案内をしています。先日、美術館の広い庭で落ち葉を掃いていると、茶色の米粒程の小さな実をつけた小枝が落ちていました。珍しいと、思わず手に取り家に帰って調べて見ると、漆の実と分かりました。あの漆器などに塗ってある“うるし？”とこの小さな実をじっと眺めてしまいました。

江戸時代には、この漆の実を砕いて練って作った“漆蠟”を、和紙を芯にしたものに、巻き付け、『漆ろうそく』に作ったことがわかりました。

この『漆ろうそく』の特徴は、『煤が出にくい』、『炎



が消えにくい』、『癒しの効果（ゆらぎ）がある』
ということだそうです。

私は、先日の稲門会美術展に手漉き和紙のランプ
シェードを『灯り』として、展示に参加させていた
だきました。和紙は光を当てると、その繊維の繊細
な美しさを一層、際立てて見せてくれます。この時
は、光源にLEDライトを使いましたが、炎に微か
な揺らぎのあるという『漆ろうそく』をLEDライ
トの代わりに入れて、私の手漉き和紙を、また違う
趣のもとに、眺めてみたいと思っています。

『漆ろうそく』を自分で作ってみることはできな
いかしら・・・と考えているこの頃です。

<補足情報>日野稲門会会員 杉村 眞氏
(昭44・文学)夫人です

「コロナ禍とツバメ」

高木 洋 (昭46・工研修)

定年後、日野稲門会ではバードウォッチング会に
所属、また地元の写真クラブにも参加しております。
新型コロナウイルスの外出自粛の関係で会の活動や
写真撮影の機会がどうしても減っておりました。

そんな緊急事態宣言のさなか、なんと被写体がむ
こうから自宅にやって来てくれたのです。自宅ガレ
ージの軒先にツバメが巣作りを始めました。巣立ち
までの約2か月の間、毎日、身近な絶好の被写体と
なってくれた事は言
うまでもありませ
ん。私の小指の先ほ
どの小さな卵から生
まれた五羽の雛が、
どんどん大きくなる
様子、その間親鳥が



ひっきりなしにえさを運ぶ姿は本当に感動もので
した。巣作りから子育て、巣立ちの様子を何枚もの
写真に収めることが出来、その中の一枚が写真専門
誌に入賞するおまけも付きました。外出自粛の折、
まさに毎日バードウォッチングと写真撮影という
二つの趣味を自宅で体験させて貰い、ツバメの皆さ
んには感謝の言葉しかありません。

遠い南方の国へ親子皆無事帰れたかなと、ぼつん
と残ったツバメの巣を見ている今日この頃です。

新会員の紹介

好きなこと

佐保田 英彦 (昭和58年文学)

大学時代は現代写真研究会という写真のサークル
に所属。写真を介してお酒や遊びに興じていまし
た。たまり場は15号館ラウンジで、第2のたまり
場はランド坂のとある雀荘。早稲田祭では8号館
のラウンジで写真展を行ってました。

今では、ほとんどカメラで写真を取ることはなく
なり、スマホでいろいろな写真を撮って記録してい
ます。最近のスマホのカメラは性能が良いので日常
を切り取るのであれば十分です。

先日、富士フォトギャラリー銀座で開催された日本
風景写真協会東京支部の作品展に友人が出展してい
たので久しぶりに写真展を見にいきました。桜と菜
の花が咲いている時に一瞬降った雪の景色の写真で
した。ぶり返した寒さの中での花の息吹を感じさせ
るものでした。自分も久しぶりにカメラを持って街
に行きたくなりました。

今年、60歳定年で再雇用の身となりました。
土・日の休みですが、今までよりは融通がきいて平
日も休みがとれますので、好きなことをもっとやっ
ていければと思います。日野稲門会には様々な会が
あるようですので、興味ある行事に参加出来たらと
思っております。よろしく願いいたします。

編集後記

☆各同好会から写真をいただきましたが、あいにく
紙面数の制約上一部は割愛させて頂きました。

☆誤字のお詫び：「かわら版2号」で投稿者の中西
摩可比様のお名前の漢字が誤っておりました。中西
様にお詫び申し上げます。日野稲門会 HP の「かわ
ら版のバックナンバ」に掲載分は訂正しました。

☆日野稲門会のホームページには、主催イベントや
各同好会の案内・活動報告・ニュースなどを掲載し
ています。<https://www.hinotomonkai.org/>

かわら版編集長：五十嵐 耕一 (広報担当)

編集委員：京極 英二、宮本 誠二、上田 實

広報担当メール：hinotomonkai.kouhou@gmail.com